



(別添)

2024年8月29日
NITE (ナイト)
独立行政法人製品評価技術基盤機構
中国支所

News Release

リコール情報の“未読・既読スルー”はNG！ ～ 年間100件発生「リコール製品の事故」を防ぐ ～ —中国5県版—

- 製品の不具合や欠陥などにより事業者がリコール^{*1}を実施していますが、リコール後もリコール対象品^{*2}と気付かなかつたり、気付いていてもそのまま使い続けてしまつたりすることで、重大製品事故^{*3}(以下、「リコール後の重大製品事故」という。)が発生しています。
- リコール後の重大製品事故は、消費者にリコール情報が確実に届き、製品の回収・改修・点検(継続利用の可否確認)などの対応が行われていれば未然に防ぐことができた可能性が高い事故です。
- 製品事故が発生しないよう、事業者からは様々な媒体を通じてリコール情報が発信されていますので、最新の情報を確認しましょう。
- リコール後の重大製品事故が発生するおそれがあるため、リコール対象製品をお持ちの場合は、不具合が生じていなくても使用を中止し、販売店や製造・輸入事業者へ連絡して下さい。
- リコール情報を見逃さず、事故を未然に防ぎましょう。

(*1) 事業者が消費生活用製品による事故の発生及び拡大の可能性を最小限にすることを目的に行う、製品の回収、交換、点検、修理、注意喚起など。

(*2) 本資料では、経済産業省又はNITEで公表しているリコール対象製品に限る。

(*3) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故情報。

1. リコール情報後の事故発生状況

NITE(ナイト)に通知された製品事故情報では、リコール情報後の事故は、中国地方5県(鳥取県、島根県、岡山県、広島県及び山口県)では2019年度から2023年度までの5年間に34件発生しており、発生状況は以下のとおりとなっています。

(1) 中国5県の年度別 事故発生件数

表1にリコール情報後の「年度別・県別」事故発生件数を示します。

表1 「年度別・県別」リコール情報後の事故発生件数

年度	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合計
2019年度		1	2	2	2	7
2020年度	1		4	6		11

2021年度	1		2	2		5
2022年度			1	3		4
2023年度		2		3	2	7
合 計	2	3	9	16	4	34

(2) 中国5県の被害状況別 事故発生件数

表2にリコール情報後の「被害状況別・県別」事故発生件数を示します。

表2 「被害状況別・県別」リコール発生後の事故発生件数

被害状況 ^{※4}		鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合 計
人的被害	死 亡				1		1
	重 傷		1	3	3		7
	軽 傷				2		2
物的被害	拡大被害	2	2	4	8	3	19
	製品破損			2	2	1	5
被 害 な し							0
合 計		2	3	9	16	4	34

(※4) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

(3) 中国5県の事故原因区分別 事故発生件数

表3にリコール情報後の「事故原因区分別・県別」事故発生件数を示します。

表3 「事故原因区分別・県別」リコール発生後の事故発生件数

事故原因区分	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	合 計
A：設計、製造又は表示等に問題があったもの		1	3	6	2	12
B：製品及び使い方に問題があったもの				1		1
C：経年劣化によるもの				1		1
G3：製品起因であるが、その原因が不明のもの	2		1	1		4
D：施工、修理、又は輸送等に問題があったもの						0
E：誤使用や不注意によるもの					1	1
F：その他製品に起因しないもの						0
G：原因不明のもの（G3を除く）		1	4	6		11
H：調査中のもの		1	1	1	1	4
合 計	2	3	9	16	4	34

2. 事故事例について

中国5県で発生した、リコール情報後の事故事例を示します。

○ノートパソコンの事故事例

2023年6月（山口県、年齢不明・男性、拡大被害）

【事故の内容】

当該製品を使用中、当該製品の電源コード部を溶融する火災が発生した。

【事故の原因】

当該製品は、ACアダプターのDCプラグ部樹脂において、難燃剤に使用されていた赤リンの耐水性に不具合があったため、湿度の影響でリン酸が生じて端子金具から銅が溶出し、端子間が短絡して異常発熱が生じ、出火したものと推定される。

【公表されていたリコール情報】

2018年6月22日にホームページに、対象ACアダプターの無償交換を行うリコール情報を掲載していた。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード例】

ノートパソコン ACアダプター

○エアコンの事故事例

2023年3月（広島県、年齢性別不明、拡大被害）

【事故の内容】

当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。

【事故の原因】

当該製品は、ファンモーターの接続配線のコネクタが水分の浸入しやすい構造であったため、コネクタ部に湿気が浸入して、ファンモーターのコネクタの電源ピンが腐食して発熱し、ファンモーター内部基板上でトラッキング現象が生じて出火したものと推定される。

【公表されていたリコール情報】

2018年1月11日より、輸入事業者のホームページに対象製品の無償点検、改修を行うリコール情報を掲載していた（同年5月30日に対象範囲を追加）。

【NITE SAFE-Lite 検索キーワード例】

エアコン ファンモーター

3. リコール製品による重大製品事故を防ぐために気を付けるポイント

- テレビ、新聞、ラジオ、販売店の張り紙、ダイレクトメールなどのリコール情報を見逃さない。
- 使用している製品がリコール対象ではないか、随時、最新の情報を確認する。
- リコール対象製品と分かったら、不具合がなくても直ちに使用を中止し、リコールの案内に従って対応する。

4. 製品事故の実験映像について

製品事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。
なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒730-0012 広島市中区上八丁堀 6-30 広島合同庁舎 3号館
独立行政法人製品評価技術基盤機構 中国支所
担当者 : 三谷、弘田
電話 : 082-211-0411